

飛島グループIT基本方針

飛島グループは、ITを経営基盤として活用し、グループ経営の効率化、事業競争力の強化、持続的な成長および企業価値の向上を実現するため、以下の基本方針に基づいた取り組みを実施します。

1. IT戦略の策定と推進

グループ経営ビジョンの確立に向けてIT戦略を策定し、経営戦略との整合を図りながら、デジタル技術およびデータの活用による業務改革、生産性向上ならびに新たな価値創造を推進します。

また、グループ全体のIT施策については、経営戦略に基づき計画的に実行するとともに、事業環境の変化に応じて適宜見直しを行います。

2. ITガバナンス体制の構築と改善

ITシステムの利用に関する業務内容の把握ならびにそのコストの算出と費用対効果の評価の実施により、効率的な運用体系を構築していきます。

また、経営戦略とITシステムの整合性を確保するとともに、ガイドラインやルール策定と遵守によるリスク管理を強化し、最適なITガバナンス体制の構築と継続的な改善を図ります。

3. 情報セキュリティの統括

「飛島グループ情報セキュリティ基本方針」に基づき、情報セキュリティに関する管理体制を整備し、すべての情報資産を適切に管理、運用および保護します。

また、情報セキュリティリスクを継続的に把握および評価し、適時適切に必要な対策と改善を実施します。

4. ITコンプライアンスの確保と人材育成

ITに関する法令、規程、契約その他の社会的要請を遵守し、ITの適正な利用とリスクの低減を図ります。

また、役職員を対象として、IT、情報セキュリティ、データおよびAIに関する教育を継続的に実施し、その実施状況と効果を確認するとともに、デジタル技術や情報資産を適切に業務へ生かすことのできる人材の育成に取り組みます。

5. DXおよびデータ活用の推進

デジタル技術とデータの活用による業務プロセスの変革、業務効率化、生産性向上および競争力強化を推進します。

また、生成AIをはじめとする先進技術を安全かつ適切に活用するとともに、必要なデータ基盤および業務環境の整備し、データに基づく迅速かつ合理的な意思決定が行われるデータドリブン経営の実現を図ります。